

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2022年10月～12月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2023年2月

宮城県商工会連合会



# 中小企業景況調査報告書

2022年10月～12月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

### 2. 調査対象期間

2022年10月～12月期を対象として、調査時点は2022年11月15日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	33
建 設 業	25
小 売 業	43
サービス業	49
合 計	150

### 5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2022年10月～12月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より2.0ポイント改善し△29.5(前期△31.5)となった。産業別では、製造業が△33.4(前期△21.2)で△12.2ポイントの悪化、建設業は△24.0(前期△12.0)で△12.0ポイントの悪化となる一方、小売業は△39.5(前期△55.8)で16.3ポイント改善、サービス業でも△20.9(前期△27.1)と6.2ポイントの改善となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)で改善の見通し。産業別では、製造業、建設業、小売業で改善、サービス業で悪化の見通しである。

表-1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 31.5	△ 29.5	△ 28.0
製造業	△ 21.2	△ 33.4	△ 24.3
建設業	△ 12.0	△ 24.0	△ 20.0
小売業	△ 55.8	△ 39.5	△ 37.2
サービス業	△ 27.1	△ 20.9	△ 26.6

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、建設業が16.0%で横ばいとなったものの、製造業が21.2%で前期比6.0ポイント増加、小売業は11.6%で前期比2.3ポイントの増加、サービス業では10.2%と前期比2.0ポイントの減少であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ全産業で減少する見通しとなっている。

表-2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	15.2	21.2	12.1
建設業	16.0	16.0	4.0
小売業	9.3	11.6	7.0
サービス業	12.2	10.2	6.1

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2022年12月調査の日銀短観で、中小企業の業況判断指数（DI）は前期(2022年9月調査)と比較し、「製造業がマイナス2で前期比2ポイント、非製造業はプラス6で前期比4ポイントとそれぞれ上昇。原材料高や円安に伴うコスト増加等が景況感を下押しする一方、全国旅行支援や水際対策の大幅な緩和等を背景に産業間でばらつきがあるものの景況感は小幅改善する見込み」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）DIは、前期との比較では小売業で改善となり、製造業、建設業、サービス業では悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額DI比較では、製造業、サービス業で全国・東北以下、建設業で全国・東北以上、小売業で全国以下・東北以上であった。

表-3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・DI)

区分 業種	全国		東北		宮城	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期
製造業	△ 4.0	△ 3.5	△ 8.9	△ 10.0	△ 6.0	△ 12.2
建設業	△ 12.7	△ 14.0	△ 14.3	△ 25.4	4.2	△ 4.2
小売業	△ 20.9	△ 18.4	△ 36.3	△ 35.8	△ 39.5	△ 32.6
サービス業	△ 7.9	△ 7.4	△ 15.3	△ 18.7	△ 4.1	△ 30.6

### ② 採算

宮城の今期の採算DIは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業、サービス業で悪化、建設業で横ばい、小売業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算DI比較では、製造業では全国・東北以上、建設業、小売業、サービス業で全国以下・東北以上であった。

表-4 採算の状況 (前年同期比・DI)

区分 業種	全国		東北		宮城	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期
製造業	△ 30.4	△ 28.2	△ 37.4	△ 38.5	△ 12.1	△ 21.2
建設業	△ 31.8	△ 32.6	△ 38.3	△ 39.9	△ 36.0	△ 36.0
小売業	△ 38.7	△ 39.6	△ 47.2	△ 50.2	△ 44.2	△ 42.9
サービス業	△ 35.9	△ 36.7	△ 43.2	△ 42.8	△ 36.8	△ 38.8

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2023年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業が△21.2ポイント、建設業で△4.1ポイントとそれぞれ悪化。小売業で横ばい、サービス業で6.1ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△6.1ポイント、小売業で△2.4ポイントとそれぞれ悪化となり、建設業が8.0ポイント改善、サービス業では横ばいの見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期状況と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城でともに悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通し。建設業でも売上は全国・宮城で悪化、採算で全国・宮城で改善の見通しとなった。小売業は売上が全国で悪化、宮城は横ばい、採算では全国で改善、宮城は悪化の見通しとなった。サービス業では売上が全国・宮城で改善、採算では全国で改善、宮城は横ばいの見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 3.5	△ 4.9	△ 12.2	△ 33.4
建設業	△ 14.0	△ 16.2	△ 4.2	△ 8.3
小売業	△ 18.4	△ 22.8	△ 32.6	△ 32.6
サービス業	△ 7.4	△ 5.6	△ 30.6	△ 24.5

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 28.2	△ 22.7	△ 21.2	△ 27.3
建設業	△ 32.6	△ 30.0	△ 36.0	△ 28.0
小売業	△ 39.6	△ 35.5	△ 42.9	△ 45.3
サービス業	△ 36.7	△ 31.6	△ 38.8	△ 38.8

## 2. 県下産業別の景況

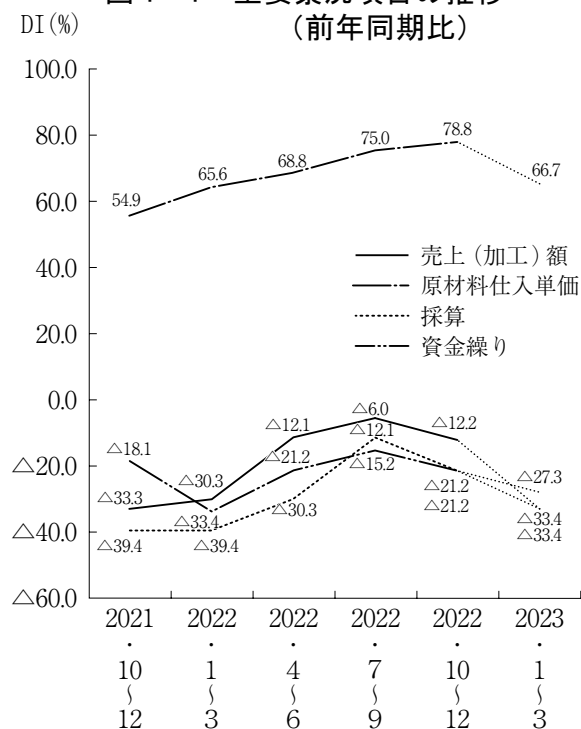
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上(加工)額D Iが今期 $\Delta 12.2$ (前期 $\Delta 6.0$ )となり前期比 $\Delta 6.2$ ポイント悪化、採算D Iでは今期 $\Delta 21.2$ (前期 $\Delta 12.1$ )で同 $\Delta 9.1$ ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期 $\Delta 21.2$ (前期 $\Delta 15.2$ )で同 $\Delta 6.0$ ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期78.8(前期75.0)と3.8ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



#### ② 主要景況項目別状況

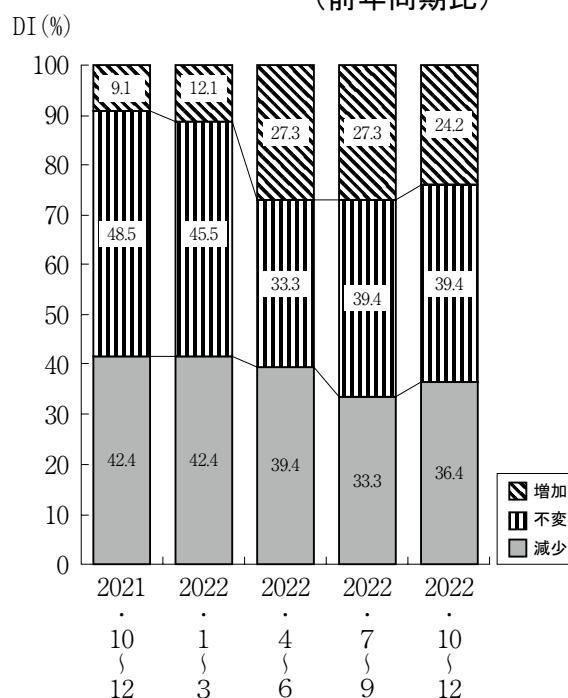
##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の24.2%(前期27.3%)で3.1ポイント減少、

「減少」と回答した企業は36.4%(前期33.3%)と3.1ポイント増加した。

その結果、売上(加工)額D Iは $\Delta 12.2$ (前期 $\Delta 6.0$ )となり前期比 $\Delta 6.2$ ポイントの悪化となった。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)



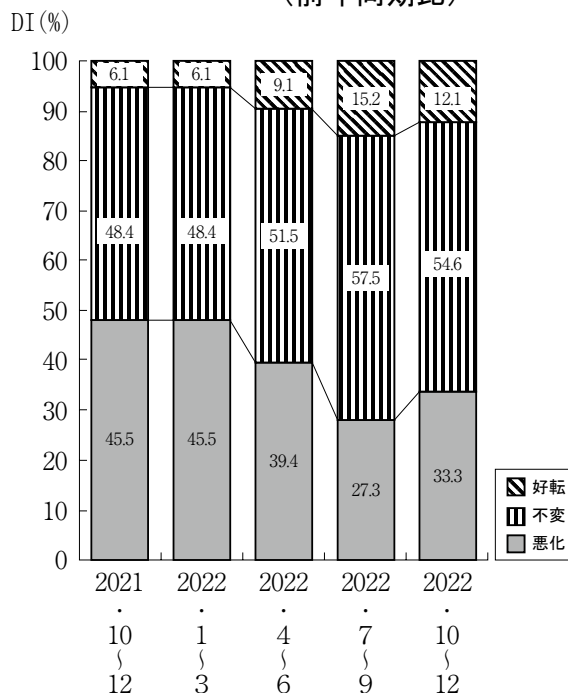
### (b) 採算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の12.1%（前期15.2%）で3.1ポイント減少、

「悪化」と回答した企業は33.3%（前期27.3%）で6.0ポイント増加。

その結果、採算DIは△21.2（前期△12.1）で△9.1ポイントの悪化となった。

図1-3 採算の状況  
(前年同期比)



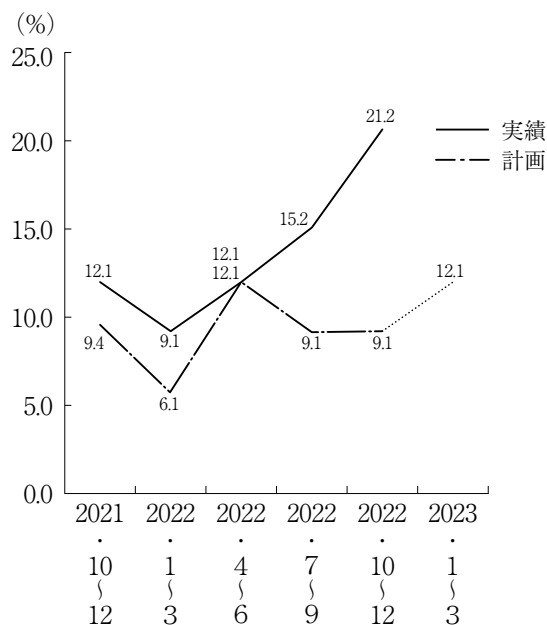
### (c) 設備投資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の21.2%（前期15.2%）で、前期と比べ6.0ポイント増加した。

その設備内容は、工場建物、生産設備、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の12.1%で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

図1-4 設備投資の状況



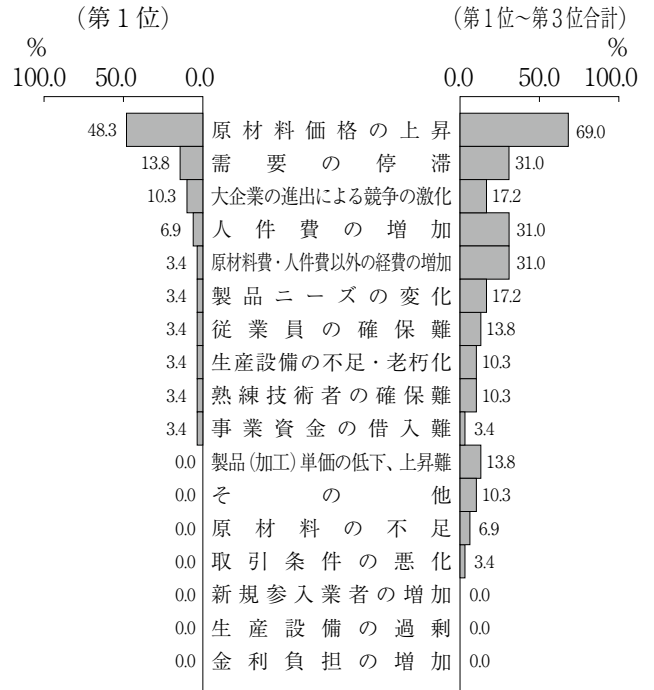


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「原材料価格の上昇」で48.3%、次いで「需要の停滞」が13.8%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「原材料価格の上昇」が69.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」「人件費の増加」「原材料費・人件費以外の経費の増加」が同率31.0%、「大企業の進出による競争の激化」、「製品ニーズの変化」が同率17.2%、「従業員の確保難」「製品（加工）単価の低下、上昇難」が同率13.8%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



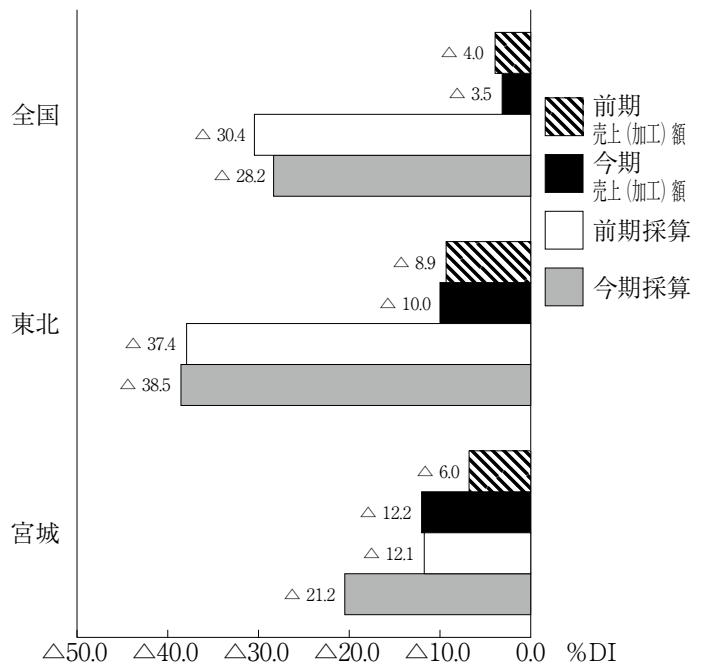
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額DIでは全国で改善、東北、宮城で悪化した。

採算DIの比較でも、全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

本県回答事業者からは「業況は好調」（酒類）、「仕事量も若干の上向き感あり」（金属加工）とする一方で、「歯止めのかからない資材、エネルギーの高騰で先行きが不安」（木製品製造）や、「商品価格の見直しを行ったばかりで、これ以上販売単価を上げるのは難しい」（食品製造）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）

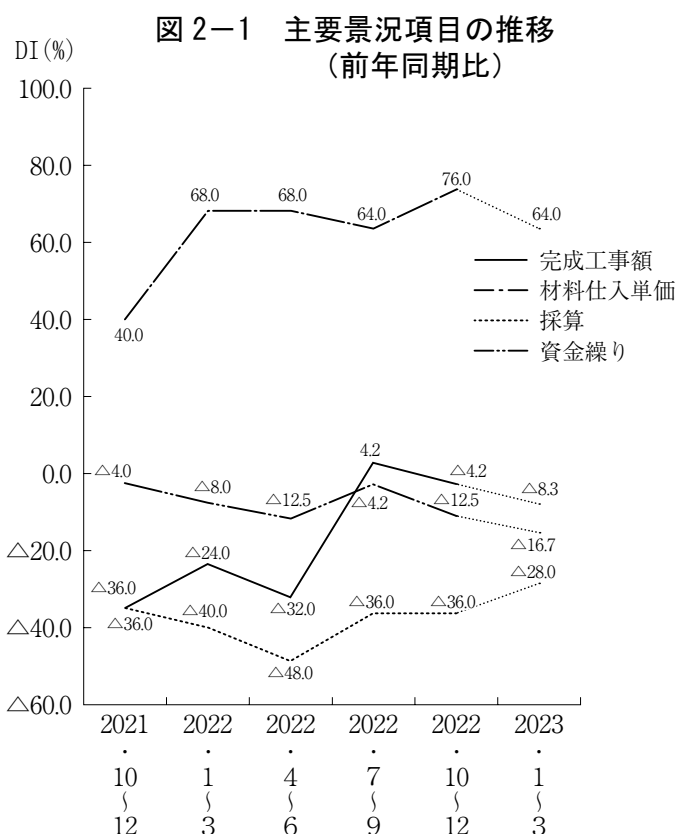


## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事(請負工事)額D Iは今期△4.2(前期4.2)となり前期比△8.4ポイントの悪化、採算D Iでは今期△36.0(前期△36.0)で横ばい、資金繰りD Iでは今期△12.5(前期△4.2)と△8.3ポイント悪化した。

材料仕入単価D Iは今期76.0(前期64.0)と12.0ポイントの上昇となった。

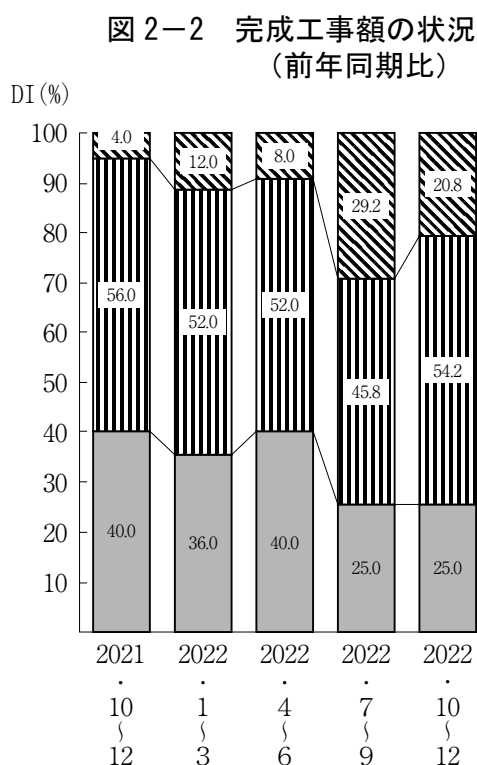


### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事(請負工事)額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の20.8%(前期29.2%)で8.4ポイント減少、「減少」と回答した企業は25.0%(前期25.0%)で横ばいとなった。

その結果、完成工事(請負工事)額D Iは△4.2(前期4.2)となり、前期比△8.4ポイントの悪化となった。

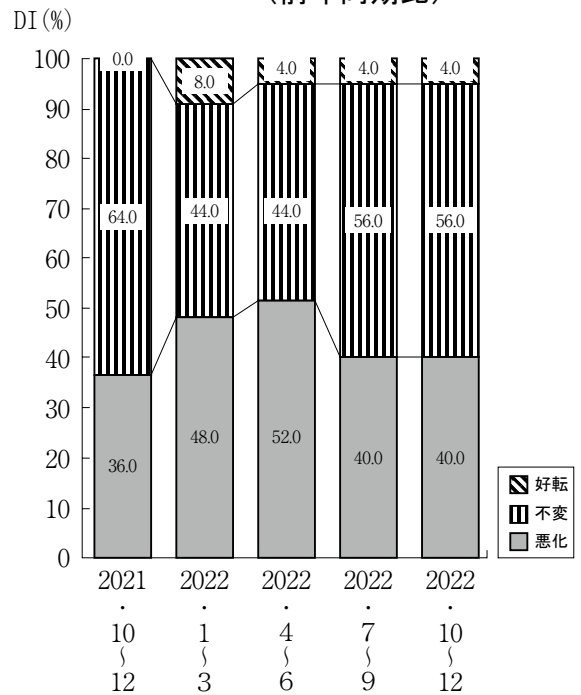


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.0%（前期4.0%）で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の40.0%（前期40.0%）となり横ばいとなった。

その結果、採算DIは△36.0（前期△36.0）となり前期と同水準での推移となった。

**図 2-3 採算の状況  
（前年同期比）**



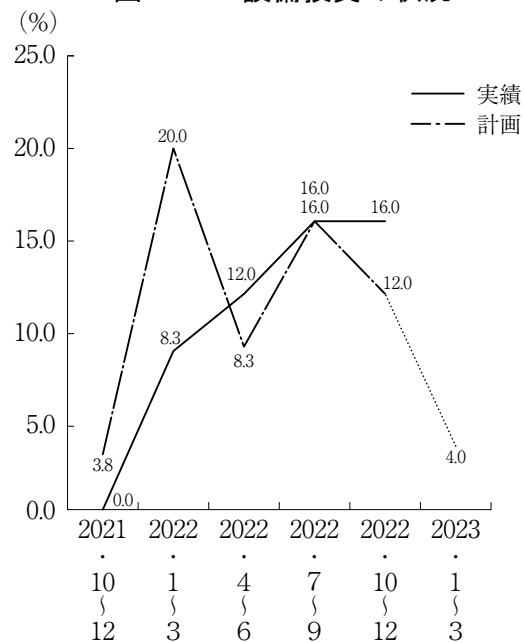
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の16.0%（前期16.0%）で前期と比べ横ばいとなった。

その設備内容は、土地、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の4.0%で、その設備内容は、車両・運搬具となっている。

**図 2-4 設備投資の状況**

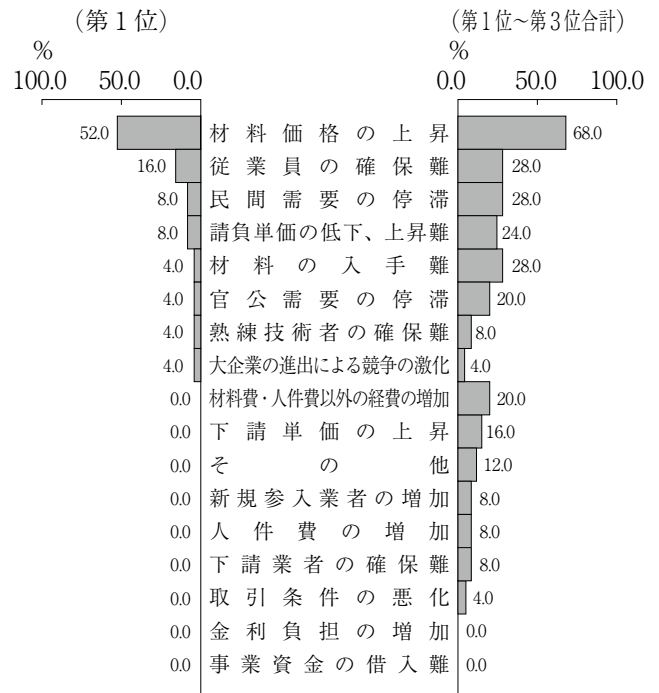


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が52.0%で、次いで「従業員の確保難」が16.0%、「民間需要の停滞」「請負単価の低下、上昇難」が同率8.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「材料価格の上昇」が68.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」「従業員の確保難」「材料の入手難」が同率28.0%、「請負単価の低下、上昇難」が24.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



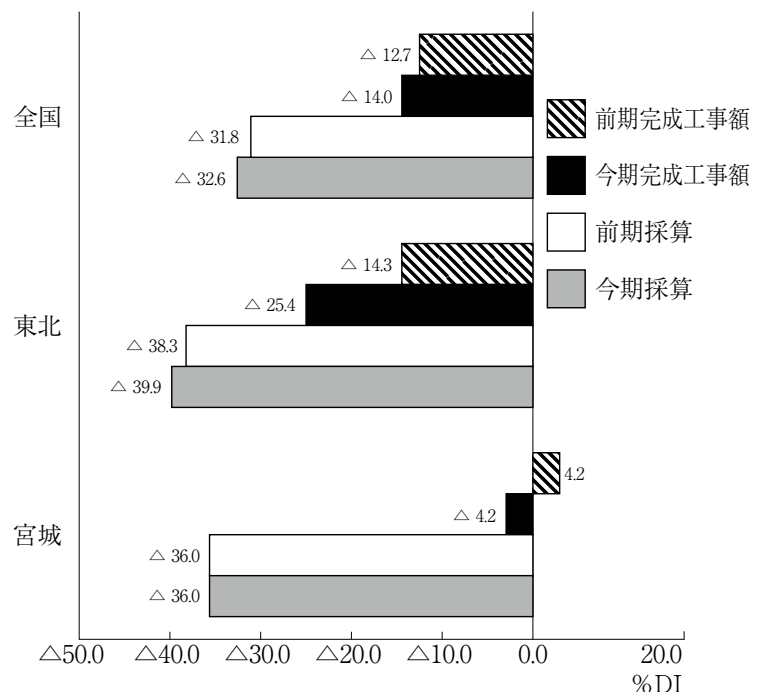
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全区分）で悪化した。その悪化度は東北、宮城、全国の順であった。

採算DIの比較では全国、東北で悪化、宮城が横ばいであった。

本県回答事業所からは「引合いは増加している」（窯業・土石）とする一方、「資材の値上がりなど各種経費の増加」や「建築資材の納期遅れによる工期全体への影響を懸念」（建築工事）、「低い請負単価」（窯業・土石）、「資材の上げ止まりがみえない」（リフォーム業）などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



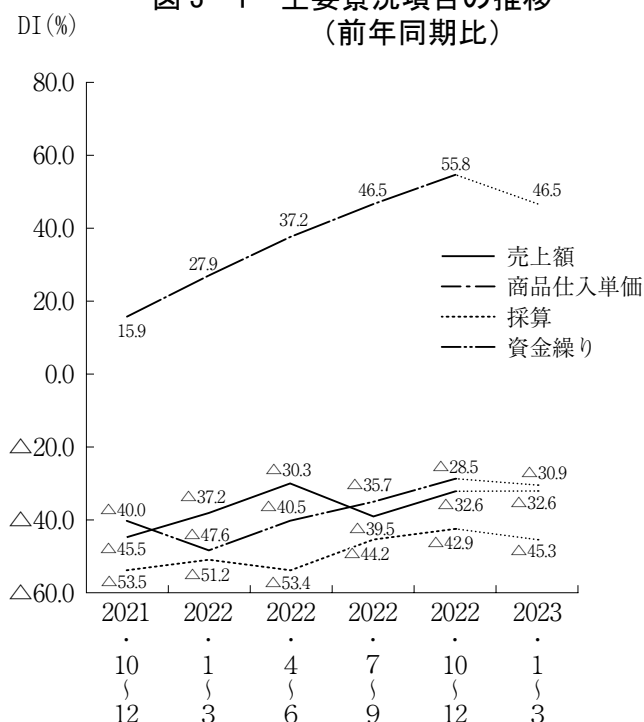
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△32.6(前期△39.5)と前期より6.9ポイント改善、採算D Iでは今期△42.9(前期△44.2)で1.3ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△28.5(前期△35.7)で7.2ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期55.8(前期46.5)となり、9.3ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



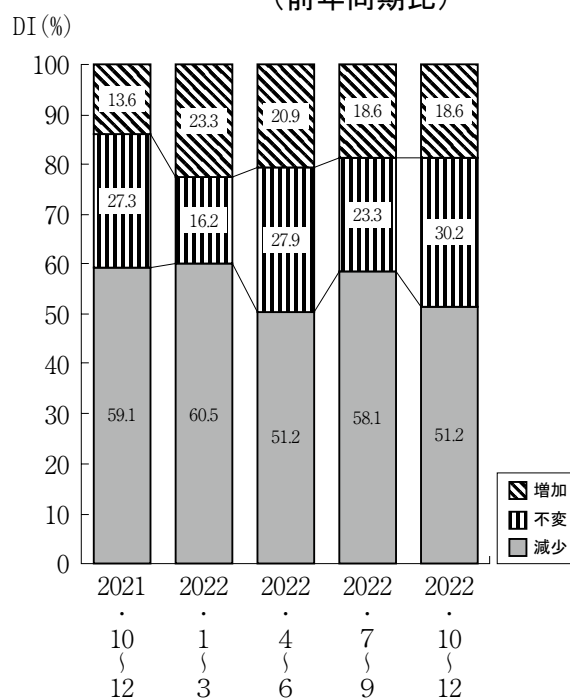
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の18.6%(前期18.6%)で横ばい、「減少」の回答は、今期は全体の51.2%(前期58.1%)で6.9ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは今期△32.6(前期△39.5)と前期より6.9ポイント改善した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

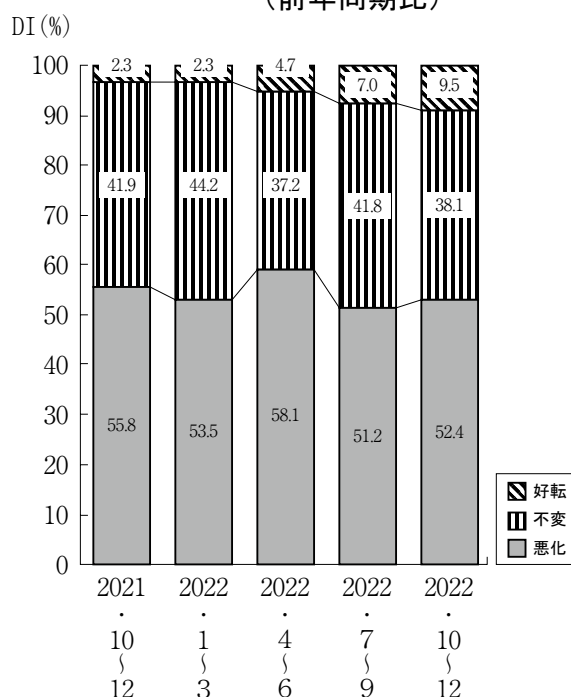


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の9.5%（前期7.0%）で2.5ポイント増加、「悪化」の回答は、今期は全体の52.4%（前期51.2%）で1.2ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△42.9（前期△44.2）で、前期より1.3ポイント改善した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



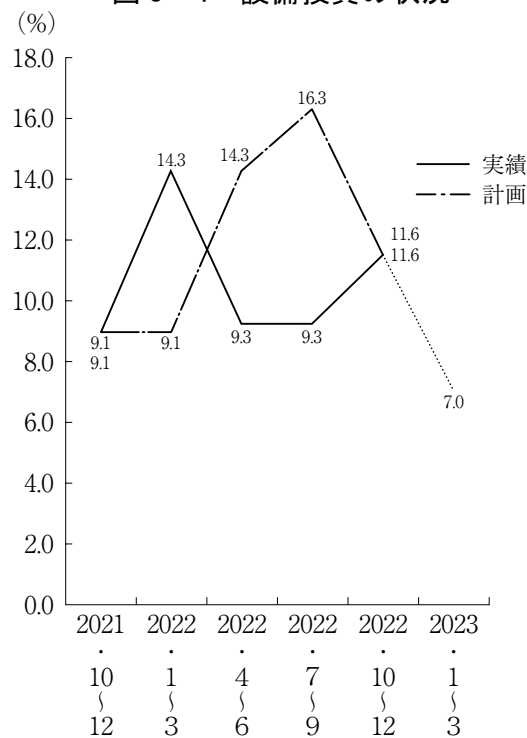
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の11.6%（前期9.3%）で前期比2.3ポイントの増加となった。

その設備内容は、店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の7.0%で、その設備内容は、店舗、販売設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

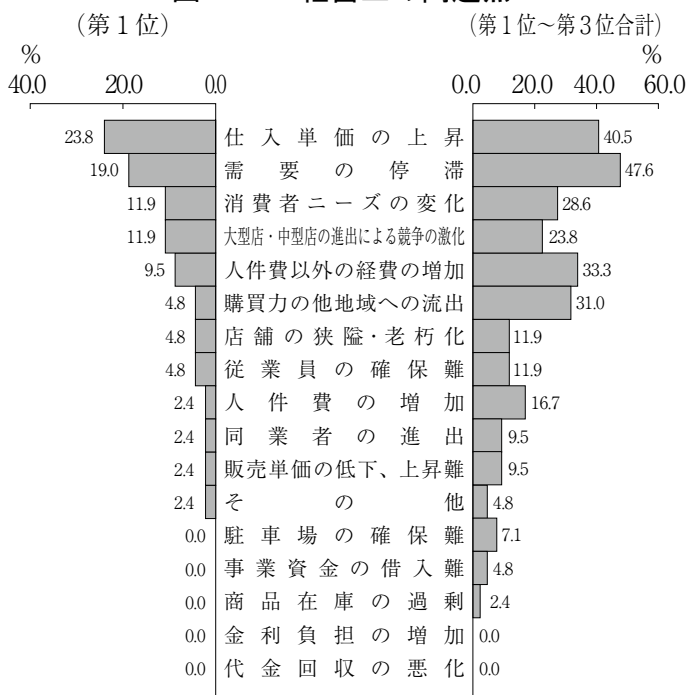


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「仕入単価の上昇」が23.8%で、次いで「需要の停滞」が19.0%、「消費者ニーズの変化」「大型店・中型店の進出による競争の激化」が同率11.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「需要の停滞」が47.6%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「仕入単価の上昇」が40.5%、「人件費以外の経費の増加」が33.3%、「購買力の他地域への流出」が31.0%、「消費者ニーズの変化」が28.6%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が23.8%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



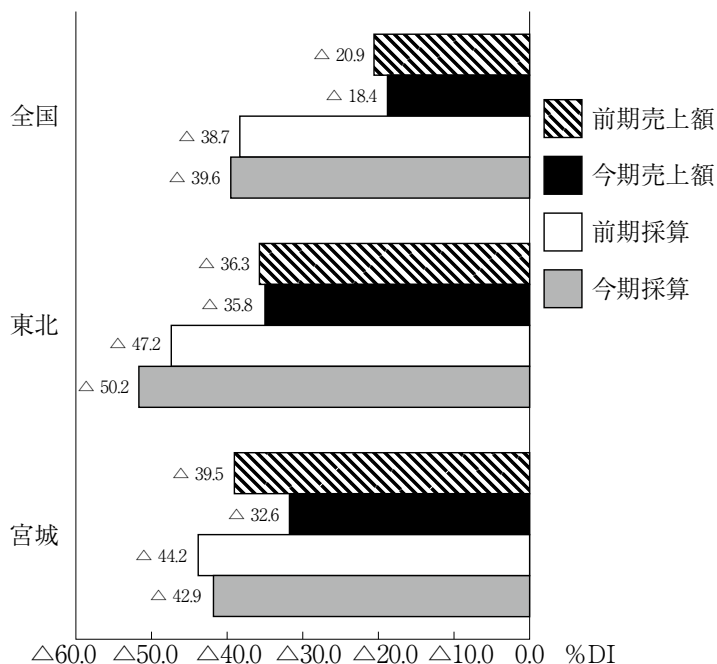
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上D Iは全地域(全区分)で改善となった。その改善度は宮城、全国、東北の順であった。

採算D Iでは、宮城で改善、全国、東北で悪化となった。

本県回答事業所から「全国旅行支援により売上・来店数ともに増加」(食料品)とする一方、「配送人員の確保難」(食料品)、「光熱費や仕入単価の上昇等の経費増により販売価格の見直しを検討するも反響が心配」(食品・酒類)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



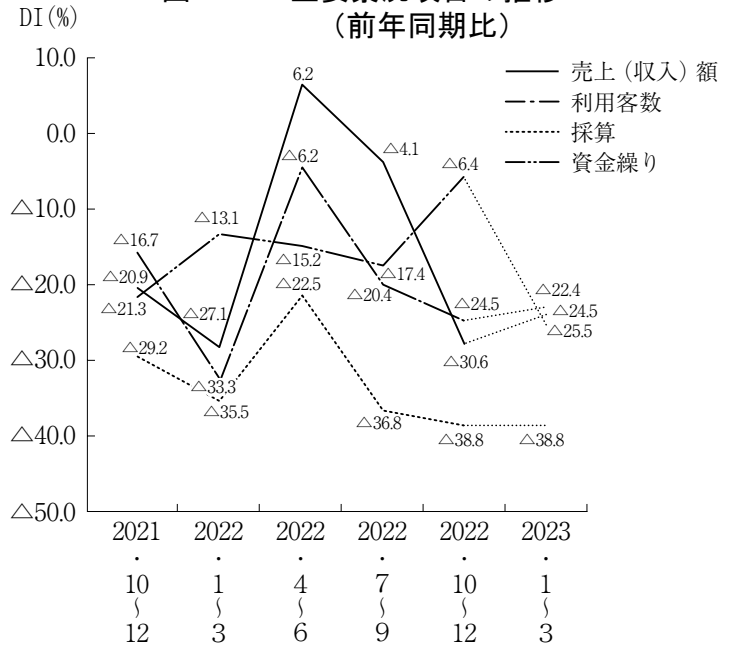
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△30.6（前期△4.1）で△26.5ポイント悪化、採算D Iも今期△38.8（前期△36.8）で△2.0ポイント悪化、資金繰りD Iでは、今期△6.4（前期△17.4）で△11.0ポイント改善した。

利用客数D Iは、今期△24.5（前期△20.4）で△4.1ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



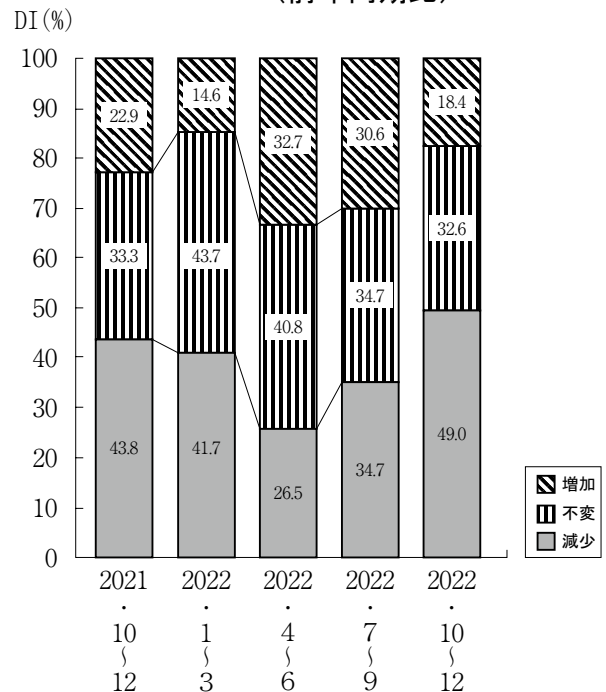
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の18.4%（前期30.6%）で前期より12.2ポイント減少、「減少」の回答は今期49.0%（前期34.7%）で14.3ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△30.6（前期△4.1）で、前期より△26.5ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)



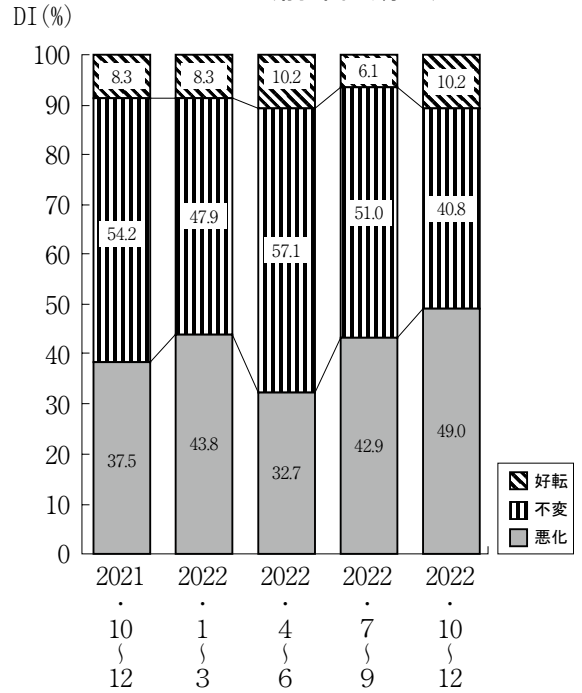


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の10.2%（前期6.1%）で4.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期49.0%（前期42.9%）と6.1ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△38.8（前期△36.8）で前期より△2.0ポイント悪化した。

図 4-3 採算の状況  
(前年同期比)



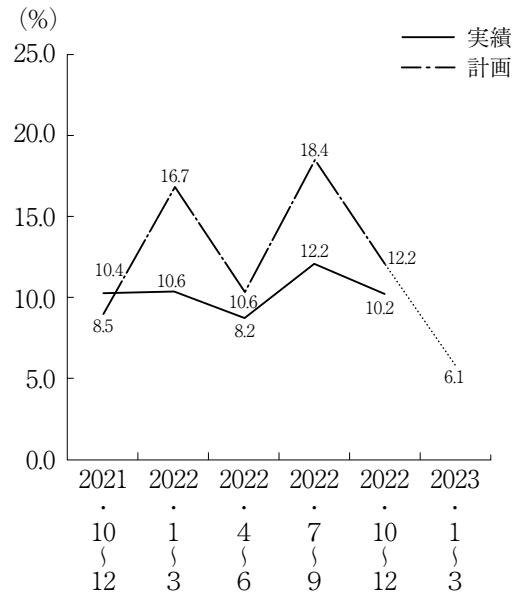
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は、今期は全体の10.2%（前期12.2%）で、前期より2.0ポイント減少した。

その設備内容は、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の6.1%で、その設備内容は、サービス、車両・運搬具となっている。

図 4-4 設備投資の状況

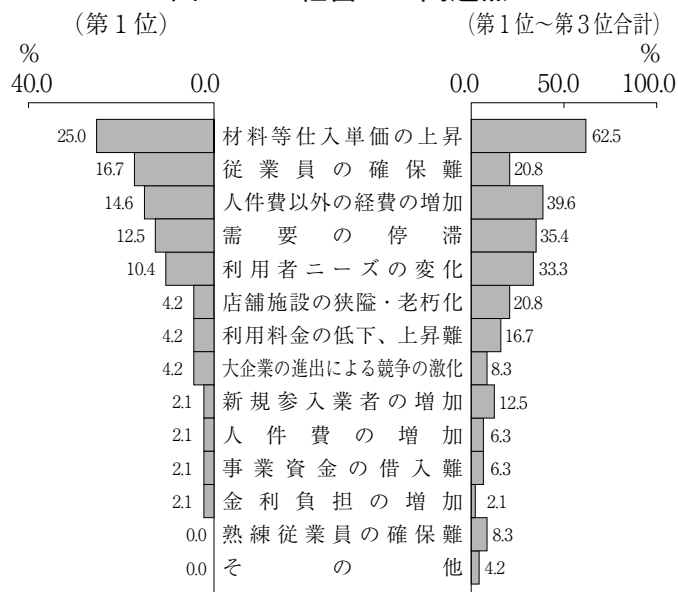


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「材料等仕入単価の上昇」が25.0%で、次いで「従業員の確保難」が16.7%、「人件費以外の経費の増加」が14.6%であった。

重要度第1位から第3位合計では「材料等仕入単価の上昇」が62.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費以外の経費の増加」が39.6%、「需要の停滞」が35.4%、「利用者ニーズの変化」が33.3%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が同率20.8%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

採算DIでは東北で改善、全国、宮城で悪化となった。

本県回答事業所からは、「全国旅行支援による宿泊需要の増加」(宿泊業)、「顧客数は回復し客単価も上昇しつつある」(飲食業)とする一方、「最低賃金の改正で資金繰りに苦慮」(リネンサプライ)、「全国旅行支援が終了した後の反動が不安」「材料費の高騰や光熱費の上昇が経営に与える影響が大きい」(飲食業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

